

Ⅲ 第4期岡山市教育振興基本計画における主な政策

1 岡山市の教育理念を実現するための4つの政策

本市では、岡山市市民協働による自立する子どもの育成を推進する条例（愛称：岡山っ子育成条例）第8条に掲げた市の責務を計画的かつ効果的に履行することで、条例に掲げた教育理念の実現を図るため、平成25年1月に第1期岡山市教育振興基本計画を策定しました。その後も、平成29年には第2期岡山市教育振興基本計画を、令和4年には第3期岡山市教育振興基本計画を策定し、教育行政を展開してきました。

グローバル化や気候変動などの地球環境問題、少子化・人口減少、格差の固定化などの社会課題が生じている中、国の第4期教育振興基本計画では、2040年以降の社会を見据えた教育政策におけるコンセプトともいえるべき総合的な基本方針として「持続可能な社会の創り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイング（Well-being）の向上」を掲げています。

こどもに必要とされる資質・能力も変化していることから、令和8年3月に第4期岡山市教育振興基本計画を策定し、変化が激しく先を見通すことが難しい時代においても、こどもたちが自らの人生を「舵取り」し、挑戦し続ける姿を目指すこととしました。

令和12年度まで、この計画に基づいて教育行政を展開し、引き続き本市が目指す教育理念の実現に向け取組を進めていきます。



【政策1】持続的な社会の発展に向けて学び続ける人材の育成

- 主体的・対話的で深い学びを通して「生きる力」の基盤となる確かな学力の育成を図るとともに、学力調査の結果分析を学習指導や支援に生かすなど、データ等の根拠に基づく取組を推進します。
- 学習者用端末を活用した先進事例の横展開やICT及び図書資料等の活用を促進し、こどもの情報活用能力の育成を図るとともに、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた取組を推進します。
- 持続可能な開発のための教育（ESD）及び社会的・職業的自立を目指したキャリア教育の推進に向け、地域や企業、大学等との連携を進め、自ら課題を設定して取り組む探究的な学習活動の充実を図ります。
- 生涯にわたって健康な生活を送ることができるよう、こどもの基本的な生活習慣の定着を図ります。また、食育を推進するとともに、こどもの体力の向上に向けて、運動の楽しさに触れ、運動習慣の確立につながる取組を進めます。
- 学校内外におけるこどもの安全確保を図るため、学校園、保護者、地域住民が連携して、安全教育（生活安全、交通安全、災害安全）の充実を図ります。



(授業の様子)

【政策 2】 誰一人取り残されない共生社会の実現に向けた教育の推進

- 道徳教育等を通じて、自他を尊重する態度、規範意識等を育む教育活動を推進します。
- 岡山市の歴史・伝統・文化や豊かな自然に触れる体験活動や学校内外の多様な人々との交流活動を通じ、豊かな感性を育む教育活動を推進します。
- すべてのこどもが自分のよさや可能性を発揮できるようにするため、障害や不登校、日本語能力、複合的な困難等の多様なニーズを有するこどもに対応し、一人一人の課題に応じたきめ細かな支援を行います。



(体験活動の様子)

【政策 3】 地域や家庭で共に学び支えあう社会の実現に向けた教育の推進



(「地域と学校の協働フォーラム」の様子)

- 学校園・家庭・地域が連携・協働することにより、地域社会との様々な関わりを通じてこどもが安心して活動できる居場所づくりや、地域全体でこどもを育む学校園づくりを推進します。
- 誰もが生涯を通じて学び続けることができるよう、地域コミュニティの基盤強化に向けて、地域住民の学びの場である社会教育施設の機能強化や環境整備を行うとともに、社会教育人材養成等を通じ、社会教育を推進します。

【政策 4】 計画の実効性を高める基盤整備及び教育DXの推進

- 教員研修の改善や魅力ある教員の確保、資質・能力の向上を進めるとともに、指導・運営体制の充実を一体的に推進します。
- 安定的なICT環境のもと、対面活動とデジタル活用を融合した教員のICT活用指導力向上を図ります。



(教職員研修の様子)

- 学校園施設について、安全・安心を確保しつつ時代のニーズに合った環境を実現するため、教育環境向上と老朽化対策の一体的な整備を推進します。
- 教育委員会や学校園の取組を市民に分かりやすく情報発信するとともに、当事者から意見聴取を行い、その意見を取り入れた計画を実施します。

探究的な学びの充実

◎ 地域と連携した探究的な学びの推進

【新規】おかやま未来探究プロジェクト

- 探究的な学びに資する研修
- おかやま魅力発信コンテスト
 - ・ 地域のよさをショート動画で発信
- おかやま未来探究プレゼン交流会
 - ・ 地域をテーマに学んだことを発表・交流



◎ 岡山市の歴史に関する資料の作成

【新規】郷土の歴史に触れる機会の創出

- 市共通の資料の作成・提供
 - ・ 学校における地域学習を支援するため、歴史に関する共通の資料を作成・提供

◎ 学校と地域を繋ぐネットワークの構築

【新規】未来を創る共育プロジェクト

- 地域人材等の開拓・登録と学校とのマッチングに向けた基盤整備
 - ・ 授業や教職員の研修など、連携可能な大学や企業、団体等を開拓し、リストアップ・登録
 - ・ 地域人材等と学校のニーズ調査に基づき、双方を最適に結びつけるマッチングの仕組みを構築
- 未来を切り拓く岡山のこどもたちの資質・能力を引き出す授業づくりの実践
 - ・ 研究協力校とともに総合的な学習の時間を中心に実践・検証

◎ ICTを活用した探究的な学びの充実

【拡充】教育DX推進事業

- GIGA端末の更新
 - ・ GIGA端末の更新・整備及びセキュリティ対策の強化

こどもたちの居場所づくりと社会的自立への支援

◎ 不登校のこどもに学びの場と居場所を提供

【拡充】児童生徒支援教室運営事業

- 校外の支援教室の新たな設置
 - ・ 中学生対象の児童生徒支援教室を南区に開設(5室→6室)

【拡充】一人一人に寄り添う居場所づくり推進事業

- 校内支援教室での支援の充実
 - ・ 教員を配置する校内支援教室を増設(6校→10校)



【新規】不登校児童生徒民間施設利用支援事業

- 民間施設に通うこどもの保護者へ利用料の一部を補助

教育環境の整備

◎ 保護者の負担軽減

【拡充】学校給食費負担軽減事業

- 小学校の学校給食費無償化
- 中学校の学校給食費の物価上昇分の支援

【拡充】学校給食調理場再整備事業

- 学校給食センターへ炊飯設備を導入
 - ・ 委託から直接炊飯に切りかえることにより、給食費の縮減を図る。



◎ トイレ施設整備

【拡充】学校施設長寿命化改修事業

- 小中学校のトイレ洋式化
 - ・ 和式トイレを使い慣れていない子どもたちの現状を踏まえ、令和8年度中に全ての小中学校のトイレを洋式化

◎ 暑さ対策

【拡充】学校空調設備整備事業

- 中学校体育館への空調設備整備
 - ・ 教育活動の円滑化、熱中症予防、避難所の環境改善にも資することから、令和9年度6月末までに整備

【拡充】学校給食調理場再整備事業【再掲】

- 給食調理場の空調設備整備
 - ・ 熱中症対策や食品管理上のリスク低減のために整備

【新規】小中学校への冷水器設置事業

- ・ 水分補給しやすい環境整備のため、全ての小中学校に設置

【拡充】公民館建設・整備事業

- ・ 公民館へ給水スポットの設置

◎ 教職員の資質向上・保護者の相談支援

【拡充】岡山市教育センター(仮称)整備事業

- ・ 教職員の資質向上に向けた研修環境の充実
- ・ 大学や企業等と連携するハブとしての機能強化
- ・ 就学相談の充実

